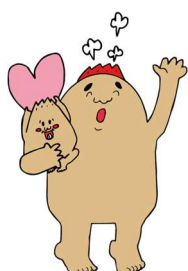


令和6年度 かごしま市予算のすがた



つながる人・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま



目	次
●令和6年度の鹿児島市当初予算総額……………	P 1
●当初予算総額の内訳……………	P 2
●一般会計当初予算額の内訳……………	P 2
●令和6年度の主な事業……………	P 5



予算って何のこと？

皆さんのご家庭では、給与やアルバイトなどいくらもらえるか、食費や教育費、電気代などがどれくらいかかるかなどを計算しながら、家計をやりくりしていることと思います。また、お子さんであれば、おこづかいやお年玉の使い方をいろいろと考えるでしょう。

国や地方自治体も同じように、1年間の収入と支出を計算して、どのような仕事にいくらお金を使うかを決めています。この入ってくるお金（歳入）と出ていくお金（歳出）の計画を『予算』といいます。

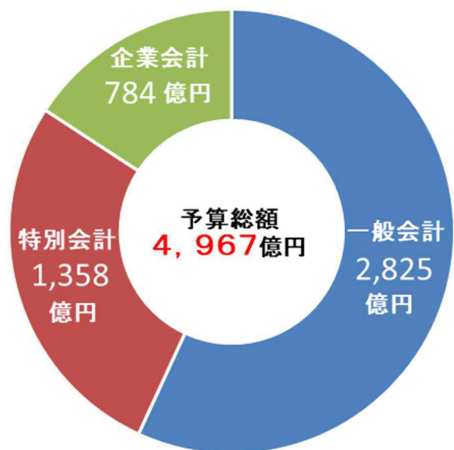
『予算』を見ると、鹿児島市の家計事情や仕事の中身が分かる仕組みになっています。市民の皆さんに鹿児島市の予算を知っていただくことは、市民の皆さんが主人公であるまちづくりの出発点です。

予算はどうやって決めるの？

福祉、教育、ごみ処理、道路整備など市役所がやらなければならない仕事はたくさんありますが、皆さんによりよい生活を送っていただくために何をしたら良いか、市役所の各部署で検討し、皆さんの意見や要望をできる限り反映させて予算の素案を作成します。

1年間に使えるお金には限りがある中で、市長が総合的な判断を加え、予算案をまとめて市議会に提案します。市民を代表する市議会は、予算案をいろいろな面から審議したうえで、市議会の議決により予算を決めます。

令和6年度の鹿児島市当初予算総額



会計とは？

特定の収入（国民健康保険税、介護保険料など）がある事業については、お金の出し入れを分かりやすくするために、お財布を分けて管理する必要があります。このお財布のことを「会計」といいます。大きく分けて3つの会計があります。

一般会計	特別会計	企業会計
市の会計の基本であり、福祉、医療、教育や道路・公園の整備など基本的な行政サービスを行う会計です。 主な収入は、市税や国・県支出金などです。(2ページ参照)	特定目的のための会計で、国民健康保険税や介護保険料など特定収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を管理します。 市には8つの特別会計があります。	地方公営企業(市立病院、交通局、水道局、船舶局)の会計です。 市には6つの企業会計があり、民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営しています。
	鹿児島市の特別会計	鹿児島市の企業会計
	土地区画整理事業清算 中央卸売市場 地域下水道事業 桜島観光施設	国民健康保険事業 介護保険 後期高齢者医療 母子父子寡婦福祉資金貸付事業
		病院事業 工業用水道事業 交通事業 公共下水道事業 水道事業 船舶事業

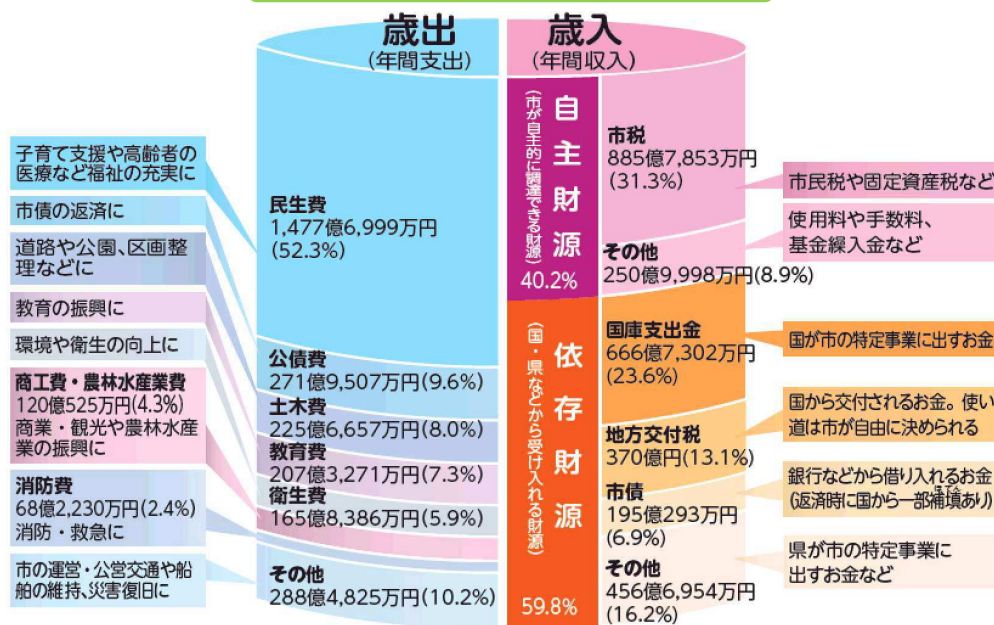
当初予算総額の内訳

当初予算総額4,967億円

会計名	予算額	前年度との比較
一般会計	2,825億 2,400万円	1.3%増
特別会計	1,357億 7,200万円	1.7%増
土地区画整理事業清算特別会計	20万円	60.0%減
中央卸売市場特別会計	11億 1,010万円	9.1%減
地域下水道事業特別会計	1億 2,660万円	73.9%増
桜島観光施設特別会計	1億 1,510万円	26.2%増
国民健康保険事業特別会計	659億 7,970万円	1.1%増
介護保険特別会計	573億 9,870万円	0.1%増
後期高齢者医療特別会計	107億 9,440万円	16.5%増
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	2億 4,720万円	25.4%増
企業会計	783億 6,500万円	2.0%増
病院事業特別会計	309億 2,600万円	3.4%増
交通事業特別会計	56億 800万円	0.5%減
水道事業特別会計	191億 680万円	0.4%減
工業用水道事業特別会計	880万円	5.4%減
公共下水道事業特別会計	193億 540万円	2.4%増
船舶事業特別会計	34億 1,000万円	5.6%増
合計	4,966億 6,100万円	1.5%増

一般会計当初予算額の内訳

一般会計当初予算額2,825億円



歳出のポイント

歳出で最も多いのは、子育て支援や高齢者の医療などに使われる民生費の約1,478億円で、一般会計当初予算全体に占める割合は約52%、次に多いのは、市債の返済に使われる公債費の約272億円で、約10%となっています。

社会保障関係経費など多額の費用が見込まれ、財政状況は厳しさを増していますが、「市民のための市政」の実現に向けて、「「つながり」を力に！持続可能なまちを築き上げる予算」となっています。

歳入のポイント

歳入で最も多いのは市税で、昨年度に比べ個人市民税などの減により約19億円の減額になりましたが、定額減税の国費補てん分を含めると、実質的な市税は過去最高になっています。

国庫支出金は、情報システム標準化に係る事業費の増などにより約16億円の増額になっています。

財政メモ① 一般会計当初予算額と人口の推移



6年度は、市民や事業者、本市に想いを寄せて関わる皆さんがそれぞれ抱く、まちへの誇りや愛着を軸とした、多様な“つながり”を力に、より一層輝く未来の鹿児島市を築き上げる予算としました。

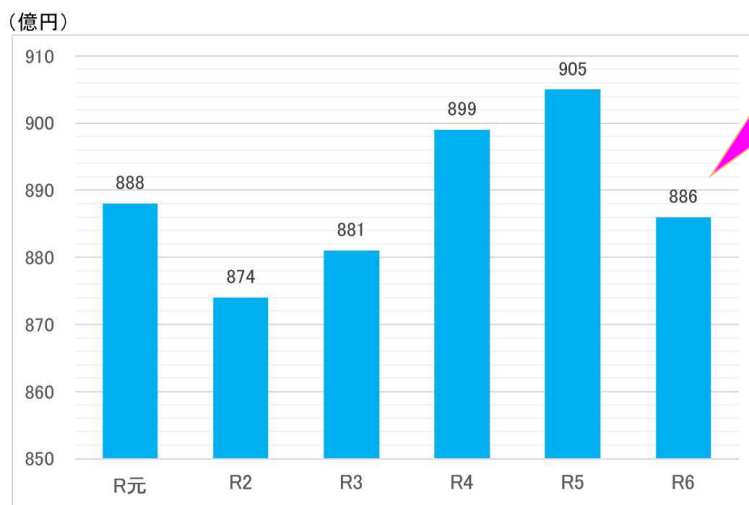
財政メモ② 市民1人当たりの予算の使い道は？

一般会計当初予算額2,825億円の使い道を市民1人当たりに換算してみました。

市民1人当たり約47万5千円の使い道 ※人口 59万5,042人で計算(令和6年1月1日現在)



財政メモ③ 市税の推移



※4年度までは決算額、5年度以降は当初予算額

市民1人当たり約15万円です。
(定額減税のため、前年度より減少していますが、国費補てん分を含めた実質的な市税は907億円になります)

市税には主に市民税や固定資産税、都市計画税などがあります。

皆さんに納めていただいた市税は歳入の約3.1%を占めており、本市のまちづくりを行うための最も重要な財源となっています。

市税は必要な行政サービスに大切に使われています。

財政メモ④ 市債残高の推移



- (1) グラフの右部分は、実質的な地方交付税である臨時財政対策債です。
 (2) 左部分は、臨時財政対策債を除いた残高です。
 (3) 3年度までは同意ベースの決算額、4年度は決算見込額、5年度以降は当初予算時の見込額です。

本来は交付税として国からもらえるお金を国の財政上の都合で市が借り入れているものです。返済は全て国の負担です。

どうして借金しなければならないの？

市債は借金なので無いに越したことはありませんが、公園や道路、学校など公共施設の整備に必要なお金を1年間の予算でまかなってしまうと、その年は他の仕事ができなくなってしまいます。

公共施設は長い間、たくさんの人が利用するもので、将来の市民の皆さんにも公平に費用を負担していただくために、市債を発行しています。

ただし、将来の返済額が多くなりすぎないように計画的な市債の発行に努めています。また、返済時に国から交付税が配分される市債を優先するなど、本市の負担を減らすことができるよう努めています。

財政メモ⑤ 基金残高の推移



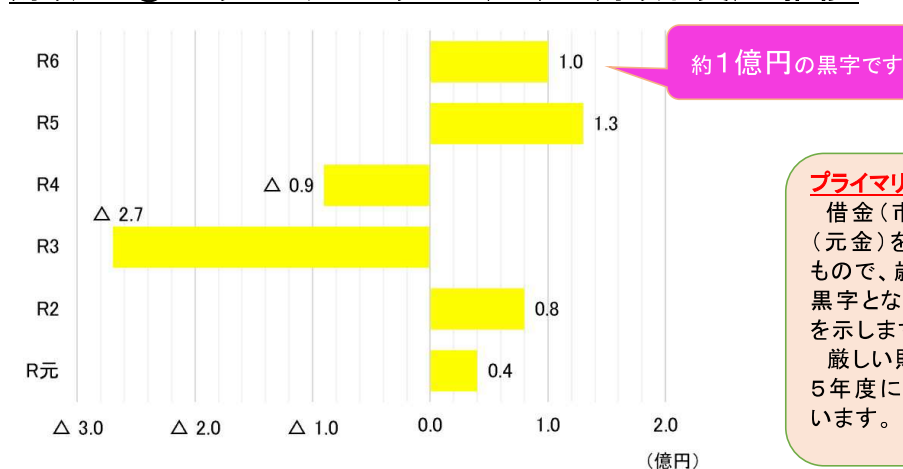
- (1) グラフの左部分は財政調整基金、中央部分は建設事業基金、右部分は市債管理基金の残高です。
 (2) 4年度までは決算額、5年度以降は当初予算時の見込額です。

基金って何だろう？

本市には、土地や建物、物品、債券などの財産のほかに、一般家庭の貯金に相当するさまざまな「基金」があります。

市の貯金である基金のうち、財政調整基金、建設事業基金、市債管理基金の3基金については、必要に応じて積立てや取崩しを行いながら、健全な財政運営の維持に努めています。

財政メモ⑥ プライマリーバランス(基礎的財政収支)の推移



- 各年度の当初予算時のプライマリーバランスです。
 (実質的な地方交付税である臨時財政対策債は、借金・返済から除いています。)

プライマリーバランスって何だろう？

借金(市債)を除いた歳入と返済(元金)を除いた歳出を比較したもので、歳入のほうが多ければ黒字となり、財政が健全であることを示します。

厳しい財政状況の中、6年度は、5年度に引き続き、黒字を確保しています。

令和6年度の主な事業

“つながり”を力に！

持続可能なまちを築き上げる予算

つながる人・まち 彩りあふれる
躍動都市・かごしま



1 信頼とやさしさのある 共創のまち

■ 地域社会を支える協働・連携の推進

- 町内会デジタル活用促進補助金(600万円)
- 町内会活動活性化補助金(4,312万4千円)
- 新生鹿児島市誕生20年・地域の魅力発信事業(242万円)
- 地域の魅力・活力共創事業(4,065万4千円)

■ 自主的・自立的な行政運営の推進

- 「市民のひろばONLINE」配信事業(470万7千円)
- デジタルスマートシティ推進事業(1,350万円)
- 行政手続オンライン化推進事業(238万3千円)
- ICTで住みよいまち推進基盤構築事業(5,692万円)
- ふるさと納税推進事業(8億9,906万3千円)



■ 多角的な連携・交流の推進

- アジア太平洋都市サミット開催事業(7,338万2千円)
- 姉妹友好都市等との交流事業(6,078万6千円)

■ シティプロモーションの推進

- マグマシティ推進事業(1,388万1千円)
- マーケティング推進事業(5,000万円)



■ 誰もが個性と能力を発揮できる地域社会の形成

- 女性活躍推進事業(228万2千円)
- 男女共同参画センター運営事業(1,090万6千円)
- 多文化共生推進事業(627万2千円)

2 自然と都市が調和した うるおいのあるまち

■ ゼロカーボンシティかごしまの推進

- GXに向けた脱炭素モデル調査事業(2,200万円)
- ブルーカーボン推進事業(100万円)
- 公用車EV拠点整備事業(352万円)
- シェアサイクル運営事業(1,655万円)



■ 循環型社会の構築

- 食品ロス削減マッチングサービス導入事業(116万1千円)
- 粗大ごみ受付システムオンライン化事業(2,189万2千円)
- プラスチック資源循環推進事業(456万6千円)
- 横井埋立処分場(2工区3期)整備事業(2,433万4千円)

■ 人と自然が共生する都市環境の構築

- 甲突川千本桜再生プロジェクト事業(2,417万3千円)
- 生物多様性地域連携保全活動支援事業(40万円)
- 花と緑のハーモニー事業(1億2,593万9千円)
- 武岡公園整備事業(8,105万6千円)



■ 生活環境の向上

- 動物愛護サポート事業(87万4千円)
- 美しいまちづくり推進事業(1,390万3千円)
- 谷山墓地・納骨堂施設整備事業(4,816万3千円)
- ヤンバルトサカヤスデ対策事業(3,020万5千円)

3

魅力にあふれ人が集う 活力あるまち

■ 地域特性を生かした観光・交流の推進

- クルーズ船誘致・受入事業 (3, 053万4千円)
- 大阪・関西万博を契機としたプロモーション推進事業 (1, 067万6千円)
- ナイトタイムエコノミー推進事業 (301万6千円)
- 磯新駅設置促進事業 (1億2, 607万9千円)
- 桜島自然体験アクティビティ整備事業 (480万円)
- 平川動物公園遊園地・錦江湾公園リニューアル事業 (1, 894万3千円)
- 国内プロモーション推進事業 (1, 019万6千円)



■ スポーツ交流・振興の推進

- スケートボード等専用施設整備検討事業 (198万9千円)

- 鹿児島アリーナリニューアル検討整備事業 (1億4, 525万円)

- 鹿児島ユナイテッドFC活動支援事業 (2, 123万3千円)
- 鹿児島レブナイズ活動支援事業 (550万円)



■ 地域産業の活性化

- かごしまクリエイター成長促進事業 (520万円)
- 中小企業デジタル広告支援事業 (1, 002万8千円)
- 地域商社支援事業 (300万円)

■ 中心市街地の活性化

- 中心市街地活性化推進事業 (560万3千円)
- 中心市街地にぎわい創出支援事業 (1, 300万円)

■ 農林水産業の振興

- 飼料自給率向上対策事業補助金 (510万円)

4

自分らしく健やかに暮らせる 安心安全なまち

■ 高齢化対策の推進

- 介護サービス事業所等物価高騰対策支援事業 (205万円)
- クイズでわかる認知症特設ページ作成事業 (81万9千円)
- 介護人材確保支援事業 (241万円)
- ICTを活用した地域介護予防活動支援事業 (186万3千円)

■ 地域共生社会の実現

- 重層的支援体制整備事業 (4, 596万円)
- 手話言語・障害者コミュニケーション条例推進事業 (268万2千円)
- 手話通訳者確保推進事業 (71万円)
- 盲ろう者向け通訳・介助員養成事業 (74万円)



■ 健康・医療の充実

- 元氣いきいき検診事業 (5億6, 996万6千円)
- 食による適正体重化事業 (44万4千円)

■ 生活の安全性の向上

- 客引き行為等対策事業 (1, 725万9千円)
- 犯罪被害者等支援条例(仮称)制定事業 (35万2千円)

■ 命を守る危機管理・防災力の向上

- 桜島火山防災研究所(仮称)設置準備事業 (1, 251万7千円)
- 県防災行政無線(衛星系)等再整備事業負担金 (400万円)
- 救急需要対策事業 (1, 487万9千円)
- 災害時非常用電源備蓄事業 (173万3千円)



5

豊かな個性を育み未来を拓く 誇りあるまち

■ 少子化対策・子育て支援の推進

- 潜在保育士雇上強化補助金 (4, 674万円)
- 保育所システム更新等推進補助金 (2, 000万円)
- 民間保育士等処遇改善補助金 (7億1, 291万3千円)
- 保育所等業務効率化推進補助金 (2, 145万円)
- 市立保育所ICT化推進事業 (1, 015万7千円)
- 児童クラブICT化推進事業 (2, 813万円)
- 児童クラブタブレット学習支援事業 (3, 310万4千円)
- 保育所等給食費支援補助金 (2億5, 636万5千円)
- 医療的ケア児受入推進事業 (8, 314万5千円)
- マリサポートかごしまAIマッチングシステム導入事業 (1, 430万円)
- 市立保育所大型遊具等改修事業 (3, 251万円)



■ 子どもの健やかな成長への支援

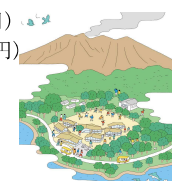
- 児童相談所設置事業 (164万9千円)
- 児童相談システム導入事業 (14万1千円)
- こどもの居場所×学習機会づくり地域支援補助金 (144万円)
- 親子関係支援プログラム実施事業 (26万2千円)

■ 学校教育の充実

- 桜島学校整備推進事業 (19億1, 911万5千円)[一部⑤2月補正]
- フレンドルーム支援事業 (1, 073万8千円)
- OIST訪問科学技術研修事業 (75万6千円)

■ 生涯学習の充実

- 生涯学習プラザ・男女共同参画センター施設整備事業 (4億6, 752万6千円)



■ 市民文化の創造

- 美術館開館70周年記念事業 (15万6千円)
- 美術館企画展等の開催 (5, 179万5千円)

6

質の高い暮らしを支える 快適なまち

■ 機能性の高い都市空間の形成

- 加治屋町1番街区市街地再開発事業 (6, 222万3千円)
- 歩いて楽しめるまちづくり推進事業 (1, 140万6千円)
- 市街地再開発促進事業 (1, 089万円)



■ 暮らしやすい生活基盤の構築

- 子育て世帯住替支援事業補助金 (500万円)
- 住宅確保サポート事業 (23万4千円)
- 主要渋滞箇所対策事業 (5, 481万2千円)

■ 市民活動を支える交通環境の充実

- 路線バス・タクシー運転者確保対策事業 (75万6千円)
- 地域公共交通ネットワーク再構築検討事業 (3, 040万9千円)
- 相乗りタクシー実証実験事業 (472万6千円)
- 公共交通不便地における持続可能な交通手段調査検討事業 (2, 928万6千円)



財政メモ⑦ 鹿児島市の予算を他の中核市と比べると

～中核市62市のうち令和6年度一般会計当初予算規模上位15市～

	都市名	予 算 額	人 口
①	鹿児島市	2,825億2,400万円	約 60万人
②	川口市	2,554億6,000万円	約 61万人
③	姫路市	2,361億 0万円	約 53万人
④	船橋市	2,352億5,000万円	約 65万人
⑤	長崎市	2,310億5,000万円	約 40万人
⑥	宇都宮市	2,296億5,000万円	約 52万人
⑦	尼崎市	2,292億 500万円	約 45万人
⑧	八王子市	2,272億 0万円	約 56万人
⑨	東大阪市	2,216億8,333万円	約 48万人
⑩	松山市	2,197億2,500万円	約 50万人
⑪	大分市	2,118億5,000万円	約 47万人
⑫	倉敷市	2,039億3,989万円	約 48万人
⑬	西宮市	2,032億 976万円	約 48万人
⑭	豊田市	1,956億 0万円	約 42万人
⑮	金沢市	1,904億 0万円	約 44万人

～『かごしま市予算のすがた』の作成にあたって～

「予算」という言葉は知っているけれど、その内容については、専門的で分かりにくいという印象を持たれている市民の皆さんも多いのではないのでしょうか。

「市民との協働のまちづくり」を進めていくためには、市民の皆さんの生活に深く関わっている鹿児島市の予算を知っていただくことが大切です。

地方財政を取り巻く環境がますます厳しさを増す中で、「予算」のことを少しでも身近に感じていただくため、分かりやすい表現を心がけた「かごしま市予算のすがた」を作成しました。

市民の皆さんが鹿児島市の予算に興味を持っていただき、少しでも身近に感じていただければ幸いです。

★鹿児島市の予算や財政に関する情報は市ホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.kagoshima.lg.jp/> 【トップページ】⇒【市政情報】⇒【予算・決算・財政】
⇒【財政状況】からアクセスしてください。

令和6年度 かごしま市予算のすがた
作 成／鹿児島市財政課
〒892-8677 鹿児島市山下町11-1 電話099-216-1155

